

非常時持出品の準備&チェック

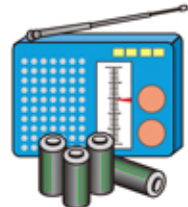
いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。



非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

携帯ラジオ



- ラジオ
- 電池(多めに用意)

救急医療品



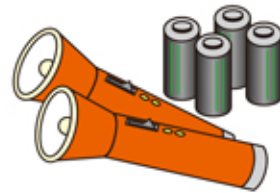
- 常備薬
- 絆創膏
- 傷薬
- 包帯
- 風邪薬
- 胃腸薬
- 鎮痛剤

貴重品



- 現金
- 預貯金通帳
- 印鑑
- 免許証
- 健康保険証
- 権利証書

照明具



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)
- ヘッドライト
- ランタン

非常食品



- 火を通さないうで食べられるもの、食器など
- カンパン
 - 缶詰
 - 非常用食品
 - ミネラルウォーター
 - 缶切り
 - 栓抜き
 - 紙皿
 - 紙コップ
 - 水筒

その他



- 衣類(下着・上着など)
- タオル
- 生理用品
- 粉ミルク
- 離乳食
- 紙おむつ
- ウェットティッシュ
- カップ
- ヘルメット
- ライター
- ラップフィルム
- ホイッスル
- (止血や食器にかぶせて使う)
- 防災マップ(本書)
- 持ち出し袋

非常時用備蓄品(例)

災害復旧までの数日間(最低3日)を生活できるようにチェック☑しましょう。

飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)
- 貯水した防災タンクなど

非常食品



- お米(缶詰・レトルト・アルファ米も便利)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品など

非常時持出品は定期的に点検を!

いざというときに支障がないように、食品類の賞味期限や持出品の不備を定期的に点検しましょう。

避難生活が長引くときに便利なもの

携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、ガムテープ、地図、さらし、筆記用具(マジックなど)、スコップなど。



大震災で役に立ったもの

ポリタンク、ホイッスル、予備の眼鏡・補聴器、ビニールシート、新聞紙、補助用具としてロープ、スコップ、パールやハンマー、のこぎり、車のジャッキなど。

非常食などはローリングストックしましょう。

ローリングストックとは、日常的に非常食を食べて、食べたらいきなり買足するという行為を繰り返し、常に新しい非常食を備蓄することです。これは非常食を食べることに慣れ、一度に賞味期限が切れることなく、その都度買足して経済的な負担も少なくすむ有効な方法です。

災害時住民行動マニュアル 防災マップ

保存版

安全で安心なまちづくり



町民の皆様へ

町民の皆様には、日頃より、当町の防災行政に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、近年は、大地震や集中豪雨、大雪、火山の噴火などの自然災害が全国各地で発生し、多くの尊い命や財産が失われております。これらの自然災害は、いつ、どこで発生するかわからないため、一度発生するとその被害は甚大なものとなります。特に集中豪雨等による河川の氾濫は、利根川・渡良瀬川両河川に挟まれた当町においては、非常に注意しなければならない災害の一つであります。

防災の基本は「自助・共助・公助」とされています。このうち公助(行政が行う防災対策)については、今後も継続して努力していく所存ではありますが、自助(自分の身は自分で守る)、共助(自分たちの地域は自分たちで守る)といった地域ぐるみの防災意識の向上が被害を最小限に抑えるために重要な要素となっております。

この防災マップは、その防災活動に役立つものと考えておりますので、平常時は日頃の防災対策に、いざという時には、落ち着いて行動できるよう活用していただければ幸いです。



平成30年1月
邑楽町長 金子 正一

目次

●町長挨拶・目次	表紙裏
●特別警報をご存知ですか？	1
●避難情報を正しく知って避難しましょう！	2
●風水害対策	3
●洪水災害について	4
●避難に関する情報（風水害時）	5
●地震対策 地震発生！そんなときどうする	6
●揺れやすさマップ	7
●わが家の「防災・緊急情報」メモ	8
●避難所一覧	9
●最大被害想定図	10
●邑楽町全体図	12
●詳細地図 1～6	14～25
●非常時持出品の準備&チェック	裏表紙

特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする新しい警報です。普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

特別警報の発表基準

現象の種類	基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合	

表中の「数十年に一度」の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

大津波警報などを特別警報に位置づけます

現象の種類	基準
津波	高いところで3メートルを超える津波が予想される場合(大津波警報を特別警報に位置づける)
火山噴火	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合(噴火警報(噴火警戒レベル4以上)及び噴火警報(居住地域)を特別警報に位置づける)
地震(地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合(緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や津波等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

「特別警報」については、気象庁HPに詳細が掲載されていますので、ご確認ください。

気象庁 〒100-8122 東京都千代田区大手町1-3-4
 電話：03-3212-8341 FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向向け)
 気象庁ホームページ
<http://www.jma.go.jp>
 特別警報について
<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/tokubetsu-keiho/>

避難情報を正しく知って避難しましょう!

発令情報	発令状況	町民の皆さんの取るべき行動
<h1>1</h1> <p>避難準備・ 高齢者等避難 開始</p>	被害が発生する危険度が高まった状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者や障がい者、乳幼児など避難に時間のかかる人(要配慮者)と支援する人は避難を始めましょう。社会福祉施設などでは自力避難が困難な人も多く利用しているので、避難を始めましょう。 ●いつでも避難できる準備をして、その後の情報に注意しながら自主的に避難を始めましょう。 
<h1>2</h1> <p>避難勧告</p>	被害が発生する危険度が明らかに高まった状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ●避難を始めてください。 ●小河川など浸水の危険があれば、低い土地に住んでいる人は避難しましょう。 ●外出することが危険な場合は安全な建物の、より安全な場所に避難しましょう。 
<h1>3</h1> <p>避難指示 (緊急)</p>	被害が発生する危険度が非常に高い、あるいは被害が発生し始めた状況です。	<ul style="list-style-type: none"> ●今すぐ避難してください。 ●外出することが危険な場合は安全な建物の、より安全な場所に避難しましょう。

※ 必ずこの順番で発令されるとは限らないので注意してください。
 ※ これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を始めてください。

風水害対策

大雨や強風はわたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



まずは、
確実な情報が大事
その次に迅速な対応

大雨情報をキャッチ! こんなときのわが家の安全対策。

強風注意報・暴風警報

強風注意報:
平均風速が13m/sと予想される場合
暴風警報:
平均風速が18m/sと予想される場合

大雨注意報

大雨によって被害が起こる恐れがあると予測される場合。

大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる恐れがあると予測される場合。

記録的短時間大雨情報 1時間に雨量100mm

上記に併せて、洪水注意報・洪水警報が発表されます。

雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10以上~20未満	20以上~30未満	30以上~50未満	50以上~80未満	80以上~
雨の音で話し声が良く聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。
●ザーザーと降る	●どしゃ降り	●バケツをひっくり返したように降る	●滝のように降る	●恐怖を感じる ●息苦しくなるような圧迫感がある

風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上~15未満	15以上~20未満	20以上~25未満	25以上~
風に向かって歩きにくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	しっかりと身体を確保しないと転倒する。風で飛ばされた物で窓ガラスが割れる。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な	54m/s以上

集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は比較的困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策を取ることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに
気象情報には、注意
しておきましょう!



地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。

洪水災害について

水防法に基づき、洪水ハザード情報をマップに掲載しています。
以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 氾濫の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、地下水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫	大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増しますので、最大の注意が必要。
内水氾濫	その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。

2 警報・注意報等の種類

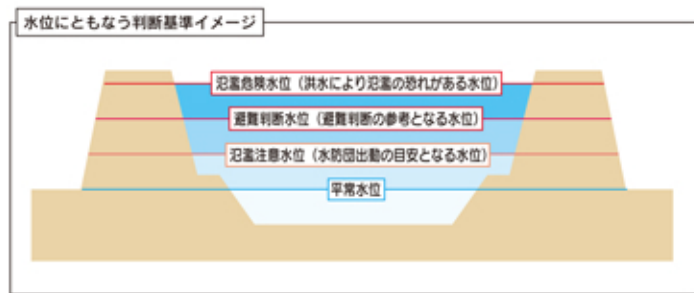
洪水や高潮の危険性が高まった際に発表される情報

洪水注意報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を注意して行う予報。

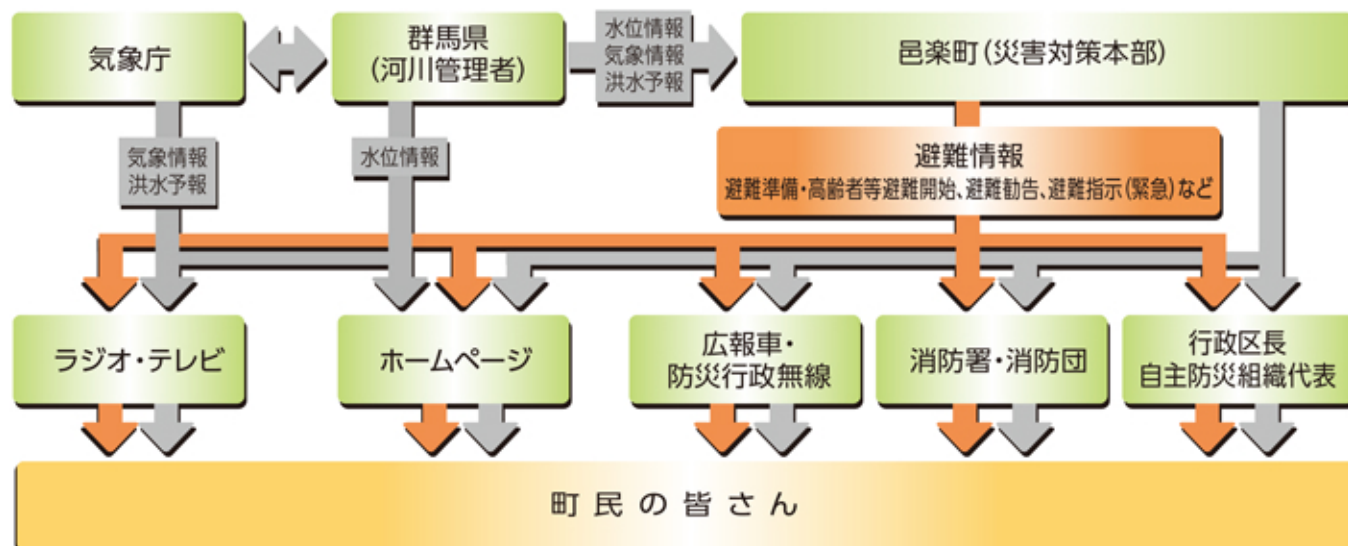
洪水警報(気象庁)

- 洪水によって災害がおこる恐れがある場合、その旨を警告して行う予報。



3 洪水情報の伝達ルート

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで皆さんへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(雷雨や異常な降雨)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。

避難に関する情報(風水害時)

「避難準備・高齢者等避難開始」情報を聞いたら高い場所へ移動する

緊急メールや防災行政無線	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
	いつでも避難できるよう準備をしましょう。お年寄りや子供は、避難を始めましょう。	お互い助け合って速やかに避難を始めましょう。なお、避難については、安全な手段と経路で行ってください。	ただちに安全な場所に避難しましょう。
	例)〇〇地区のみなさんにお知らせします。大雨の影響により〇〇川が増水しています。氾濫の恐れがありますので、避難の準備をしてください。	例)〇〇地区のみなさんに勧告します。〇〇川の水位が上昇し、氾濫の恐れがあります。避難準備を整え、速やかに避難してください。	例)〇〇地区のみなさんに速やかな避難を指示します。〇〇川が氾濫する恐れがありますので、ただちに避難してください。



- 指定緊急避難場所・指定避難所への移動。**
屋外が安全で移動できる状態のとき
- 警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難。(公園、親戚や友人の家など)**
屋外が危険な状態のとき
- 近隣の強固で高い建物などへの移動。**
- 高い建物の安全な場所へ(垂直避難)**
自宅にとどまる場合は準備と覚悟を
水道・ガス・電気などのライフラインやトイレが3日から長ければ1週間以上使えなくなる可能性があります。水や食料などの備蓄、長期孤立することの覚悟が必要です。

情報を集める テレビ・インターネット・電話案内などで調べる

気象状況

気象庁
<http://www.jma.go.jp> TEL: 177

ホーム > 防災情報
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>

気象警報・注意報
 台風情報
 指定河川洪水予報
 土砂災害警戒情報
 竜巻注意情報
 高温注意情報
 レーダー・ナウキャスト(降水・雷・竜巻) など

大雨注意報	大雨による災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。
大雨警報	大雨による重大な災害(浸水害)が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。
大雨特別警報	重大な災害(浸水害)が起こる可能性が非常に高い場合に発表されます。
強風注意報	強風により災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。
暴風警報	重大な災害が発生する恐れがあると予想されたときに発表されます。
暴風特別警報	暴風による重大な災害が起こる可能性が非常に高い場合に発表されます。
土砂災害警戒情報	お住まいの場所が土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域等に当たるかどうか、あらかじめ確認してください。

雨量・河川水位

国土交通省 川の防災情報
<http://www.river.go.jp>

雨量分布(レーダ)の推移
 河川の水位と雨量の状況
<http://i.river.go.jp> (携帯電話)

河川の洪水予報	
氾濫発生情報	氾濫が発生した時に発表されます。
氾濫危険情報	川の水位が氾濫危険水位を超えたとき発表されます。
氾濫警戒情報	川の水位が避難判断水位を超えたとき発表されます。
氾濫注意情報	川の水位が氾濫注意水位を超えたとき発表されます。

地震対策 地震発生!そんなときどうする

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

最初の大きな揺れは約1分間

- まず、身を守る 手近な座布団などで頭を保護
- すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ一時避難する



揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ちていて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等要注意
- 大雨時、土砂災害の危険が予想される地域はすぐ避難(多重災害)



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 隣近所で助け合う 要配慮者の安全確保
- 行方不明者はいないか ●ケガ人はいないか

出火防止 初期消火

- 初期消火 ●消火器を使う ●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく
- 漏電・ガス漏れに注意 電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める ●余震に注意

ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる ●救出・救護を ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



協力して消火活動、救出・救護活動を

- 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- 災害・被害情報の収集 ●無理はやめよう
- 助け合いの心が大切 ●壊れた家に入らない

1~2分

3分

5分

10分
数時間
3日

屋内にいた場合

家の中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- 火の確認はすみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでケガをする)。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。



劇場・ホール

- カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてずに冷静な行動をとる。

集合住宅

- ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- 避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



屋外にいた場合

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。



車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

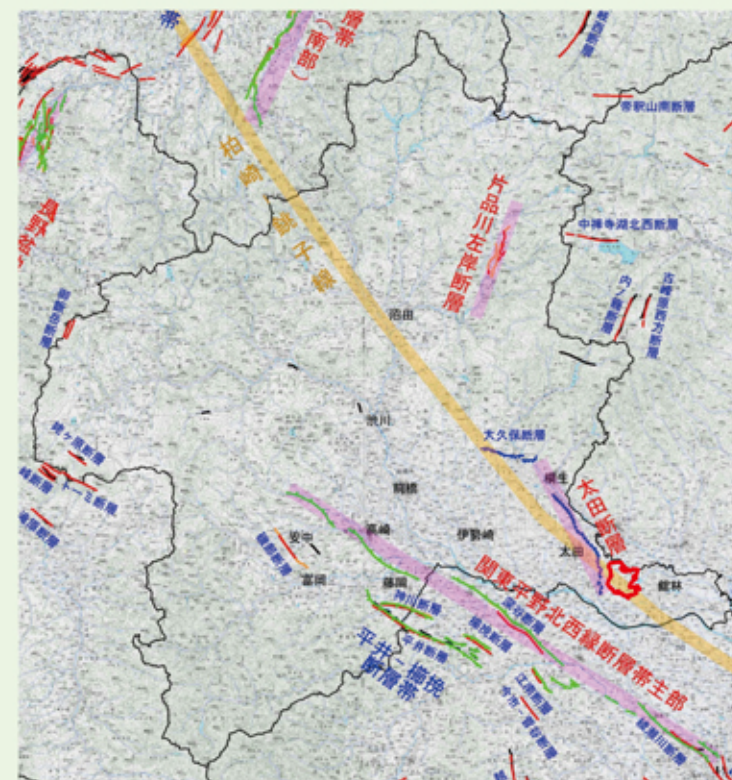
電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

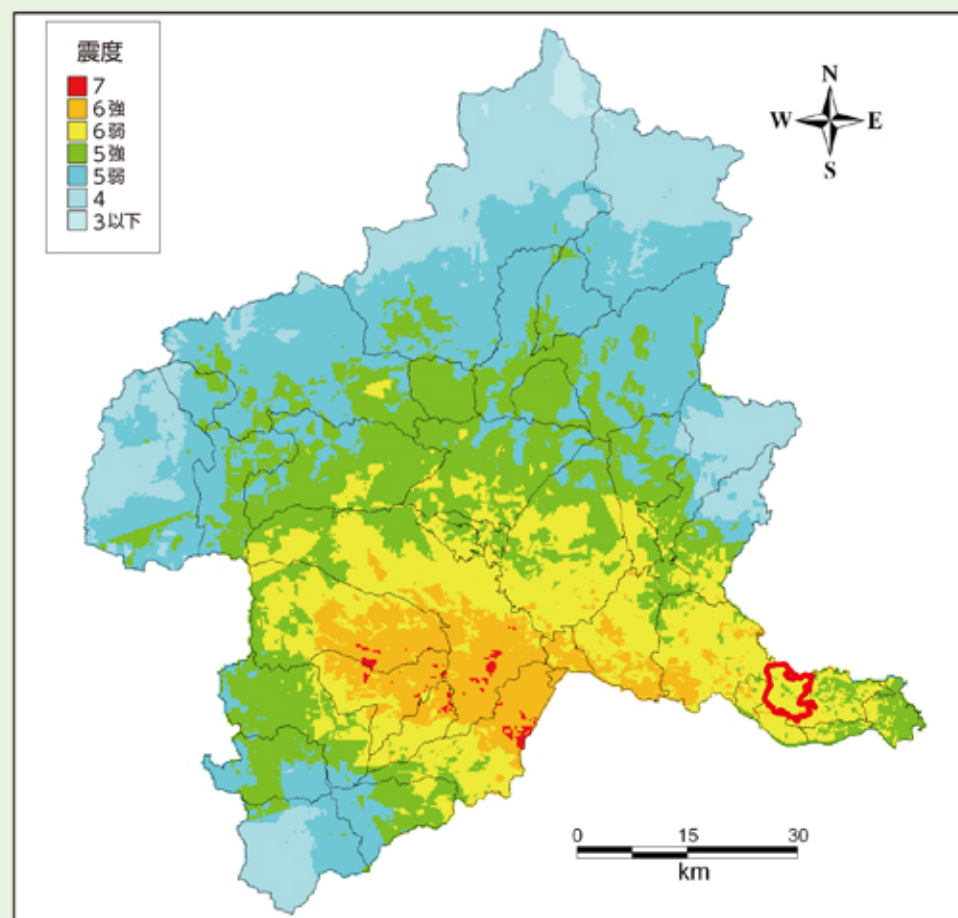


揺れやすさマップ

想定断層(帯)と想定断層のモデルの位置図



関東平野北西縁断層帯主部による地震(M8.1)の場合の地表震度分布図



わが家の「防災・緊急情報」メモ

非常時・緊急時に連絡してほしい方や、利用してもらいたいわが家の情報です。
災害時に救助の方や、緊急時に救急隊・医療機関・町に情報を提供します。

氏名		電話	
住所	邑楽町大字		

避難場所	
家族が離ればなれになった時の避難場所	

家族構成 連絡先	氏名	生年月日	電話(携帯・会社・学校)	住所	メモ	

家族の 緊急情報・ 救急メモ	氏名	血液型	持病・アレルギー	常備薬	かかりつけ医療機関	
	【メモ】※書ききれなかった内容や、知ってほしい情報(介護情報・救急隊員への伝言など)をお書きください。					

緊急時 連絡先	氏名	間柄	電話	住所	メモ	

災害用伝言ダイヤルの使い方

災害用伝言ダイヤルとは？ NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。

伝言の録音	171-1-0000-00-0000 (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-0000-00-0000 (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話、PHS

避難所一覧

広域避難場所

番号	名称	所在地	地図	番号	名称	所在地	地図
1	農村広場	邑楽町大字鶴 1318-1	2 図 B-3	9	下谷公園	邑楽町大字新中野 61	4 図 A-2
2	松本公園	邑楽町大字石打 1140	1 図 C-3	10	清水公園	邑楽町大字新中野 14	4 図 A-2
3	石打公園	邑楽町大字石打 1056-4	1 図 C-3	11	あけの公園	邑楽町大字明野 32-1	4 図 B-2
4	青少年広場	邑楽町大字篠塚 1411-2	5 図 D-1	12	鞍掛中央公園	邑楽町大字赤堀 4117	6 図 A-2
5	スポーツレクリエーション広場	邑楽町大字篠塚 1435-1	3 図 D-3	13	里前公園	邑楽町大字赤堀 4123	6 図 A-2
6	ひろや公園	邑楽町大字赤堀 1506-1	6 図 A-3	14	町立多々良沼公園	邑楽町大字鶴新田 12-1	4 図 C-2
7	緑ヶ岡公園	邑楽町大字新中野 127	4 図 A-2	15	ふれあい広場	邑楽町大字中野 1860-1	3 図 D-1
8	駅前公園	邑楽町大字新中野 87	4 図 A-2	16	おうら中央多目的広場	邑楽町大字中野 2521-1	3 図 D-2

避難所

番号	名称	所在地	地図	番号	名称	所在地	地図
1	中野小学校	邑楽町大字中野 3021	4 図 A-1	32	第八区公民館	邑楽町大字中野 3116-4	4 図 A-1
2	高島小学校	邑楽町大字藤川 379	1 図 C-2	33	千原田公民館	邑楽町大字中野 3666-3	2 図 A-2
3	長柄小学校	邑楽町大字篠塚 1278	5 図 D-1	34	向地集会所	邑楽町大字中野 1667	1 図 D-3
4	中野東小学校	邑楽町大字明野 51	4 図 B-1	35	大根村集会所	邑楽町大字中野 1315	1 図 C-3
5	邑楽中学校	邑楽町大字中野 2371	3 図 D-2	36	11 区公民館	邑楽町大字中野 580-1	3 図 C-1
6	邑楽南中学校	邑楽町大字篠塚 1445	3 図 D-3	37	谷中集会所	邑楽町大字中野 56	1 図 B-3
7	中野幼稚園	邑楽町大字中野 3176	1 図 D-3	38	鶴区民館	邑楽町大字鶴 251-1	2 図 C-3
8	高島幼稚園 ※	邑楽町大字藤川 451-4	1 図 C-2	39	鶴新田集会所	邑楽町大字鶴新田 167-4	4 図 B-2
9	長柄幼稚園	邑楽町大字狸塚 1256	5 図 D-1	40	光善寺公民館	邑楽町大字光善寺 312-1	4 図 A-2
10	中央保育園	邑楽町大字中野 4398-1	2 図 A-3	41	藤川転作促進集落センター	邑楽町大字藤川 94	1 図 D-3
11	北保育園 ※	邑楽町大字藤川 451-4	1 図 C-2	42	秋妻公民館	邑楽町大字秋妻 527-2	1 図 D-1
12	南保育園	邑楽町大字篠塚 1735-1	3 図 D-3	43	一本木公民館	邑楽町大字藤川 1118-3	1 図 C-2
13	中央児童館	邑楽町大字中野 3052	2 図 A-3	44	渋沼集会所	邑楽町大字藤川 1605	1 図 B-1
14	北児童館	邑楽町大字藤川 371	1 図 C-2	45	石打構造改善センター	邑楽町大字石打 1015	1 図 B-3
15	南児童館	邑楽町大字篠塚 1411-8	5 図 D-1	46	住谷崎公民館	邑楽町大字石打 190-3	1 図 B-3
16	東児童館	邑楽町大字中野 5073	4 図 A-1	47	坪谷稲荷神社社務所	邑楽町大字篠塚 1099-2	3 図 B-3
17	邑楽町公民館	邑楽町大字中野 3170	2 図 A-3	48	第23区公民館	邑楽町大字篠塚 1351	3 図 C-3
18	邑楽町立集会所	邑楽町大字新中野 48-1	4 図 A-1	49	西ノ根集会所	邑楽町大字篠塚 3024-1	3 図 B-3
19	邑楽町共同福祉施設	邑楽町大字中野 3197	2 図 A-3	50	宮内集会所	邑楽町大字篠塚 2906-8	3 図 B-3
20	産業研修会館	邑楽町大字篠塚 1415-1	5 図 D-1	51	中島集会所	邑楽町大字篠塚 2050-1	3 図 C-3
21	勤労青少年ホーム	邑楽町大字石打 1123	1 図 C-3	52	第25区ふれあいセンター	邑楽町大字篠塚 2781-1	3 図 B-2
22	福祉センター寿荘	邑楽町大字中野 1343-1	1 図 C-3	53	第二十六区公民館	邑楽町大字篠塚 4255-1	3 図 C-2
23	町民体育館	邑楽町大字篠塚 1423-1	3 図 D-3	54	十三軒集落センター	邑楽町大字狸塚 1020-3	5 図 D-1
24	武道館	邑楽町大字篠塚 1421-1	3 図 D-3	55	狸塚総合研修センター	邑楽町大字狸塚 1590-1	4 図 A-3
25	下中野区民館	邑楽町大字中野 5286-5	4 図 B-1	56	本郷江原集落センター	邑楽町大字狸塚 2315	4 図 A-3
26	第2区公民館	邑楽町大字中野 4898-1	4 図 A-1	57	古家転作促進集落センター	邑楽町大字赤堀 136-3	6 図 B-2
27	第3区公民館	邑楽町大字中野 4698	4 図 A-1	58	十軒集会所	邑楽町大字赤堀 1372-1	5 図 D-2
28	前原公民館	邑楽町大字中野 2283	3 図 D-2	59	赤堀転作促進集落センター	邑楽町大字赤堀 510	6 図 B-1
29	天王元宿公民館	邑楽町大字中野 2947	3 図 D-1	60	開拓公民館	邑楽町大字赤堀 3970	6 図 C-1
30	第六区公民館	邑楽町大字中野 1832-17	1 図 D-3	61	明野公民館	邑楽町大字明野 30-1	4 図 A-2
31	第7区区民館	邑楽町大字中野 3053-2	4 図 A-1	62	風の子保育園	邑楽町大字中野 2204-1	3 図 C-1

福祉避難所

番号	名称	所在地	地図
1	邑楽町保健センター	邑楽町大字中野 2570-3	3 図 D-2

※平成30年4月から、おうらこども園になります。

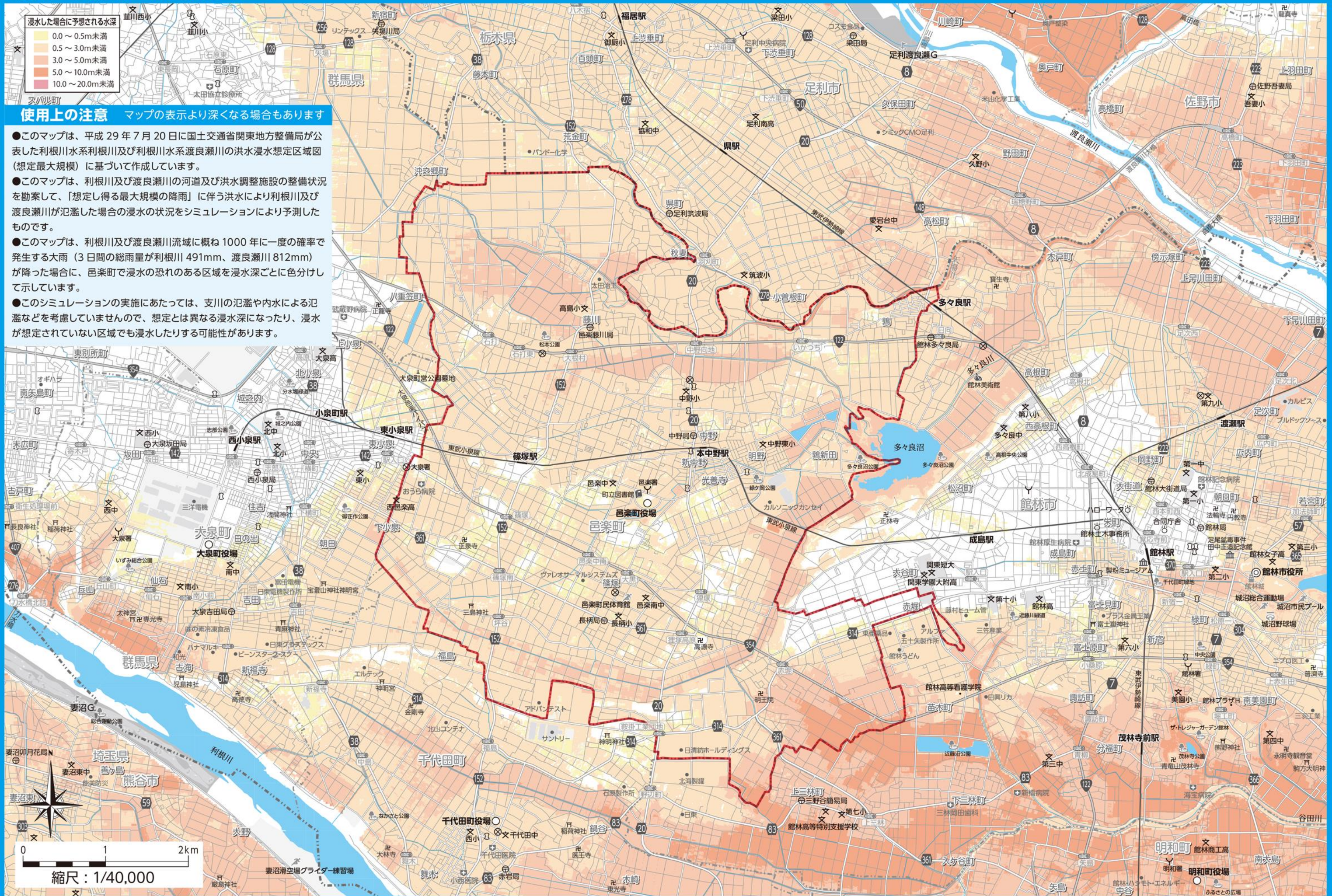
最大被害想定図



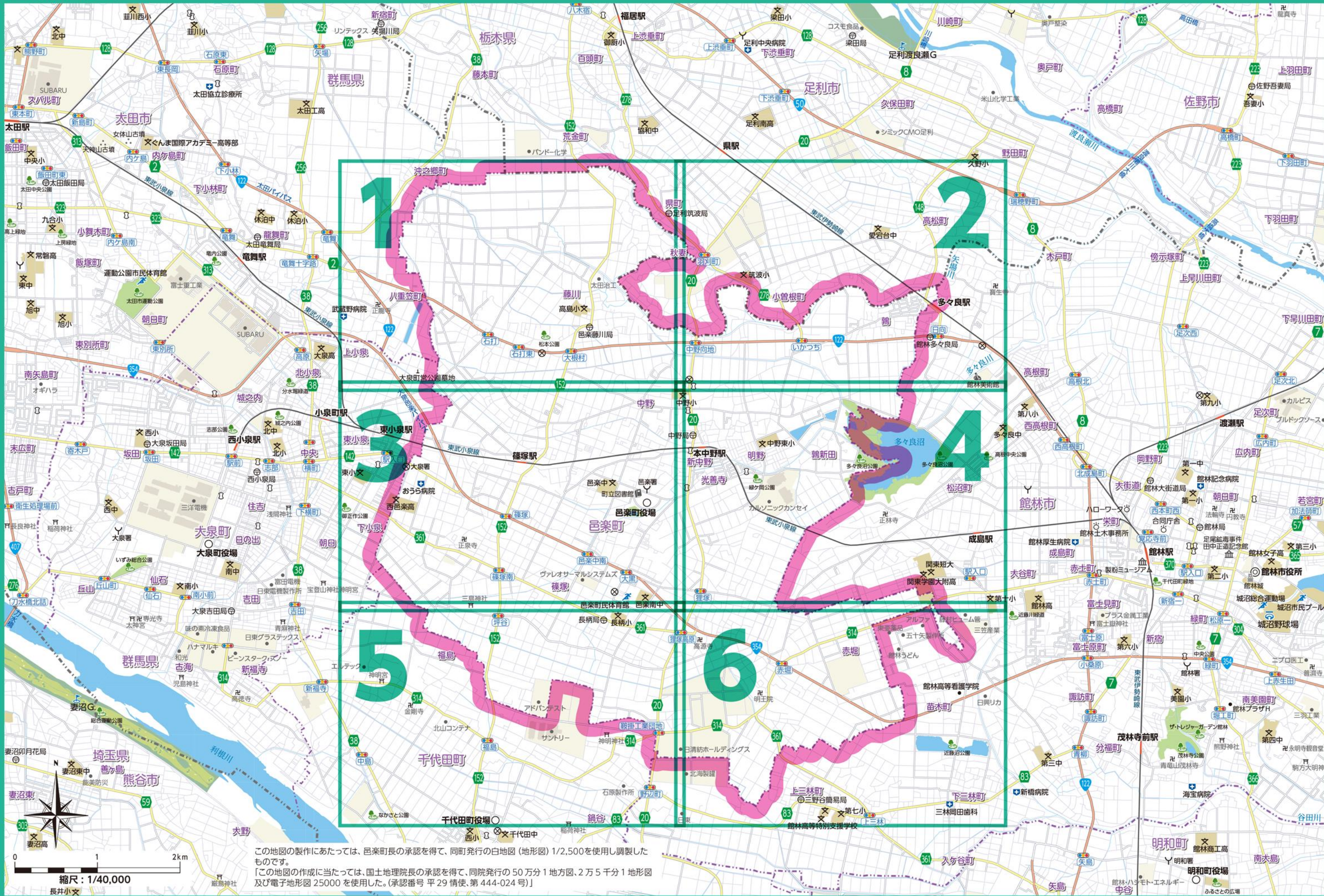
使用上の注意

マップの表示より深くなる場合もあります

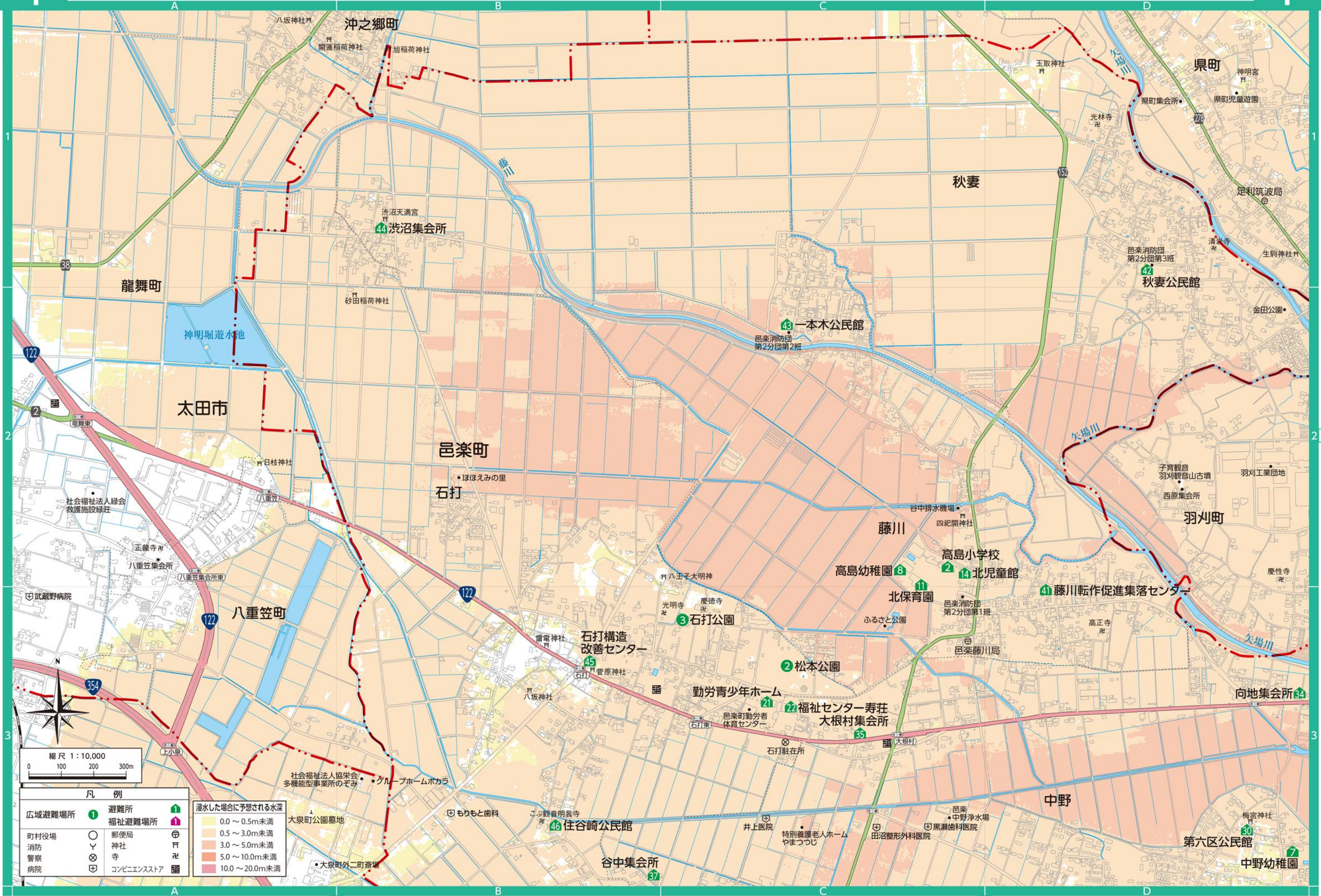
- このマップは、平成 29 年 7 月 20 日に国土交通省関東地方整備局が公表した利根川水系利根川及び利根川水系渡良瀬川の洪水浸水想定区域図(想定最大規模)に基づいて作成しています。
- このマップは、利根川及び渡良瀬川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、「想定し得る最大規模の降雨」に伴う洪水により利根川及び渡良瀬川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- このマップは、利根川及び渡良瀬川流域に概ね 1000 年に一度の確率で発生する大雨(3日間の総雨量が利根川 491mm、渡良瀬川 812mm)が降った場合に、邑楽町で浸水の恐れのある区域を浸水深ごとに色分けして示しています。
- このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫や内水による氾濫などを考慮していませんので、想定とは異なる浸水深になったり、浸水が想定されていない区域でも浸水したりする可能性があります。



全体図



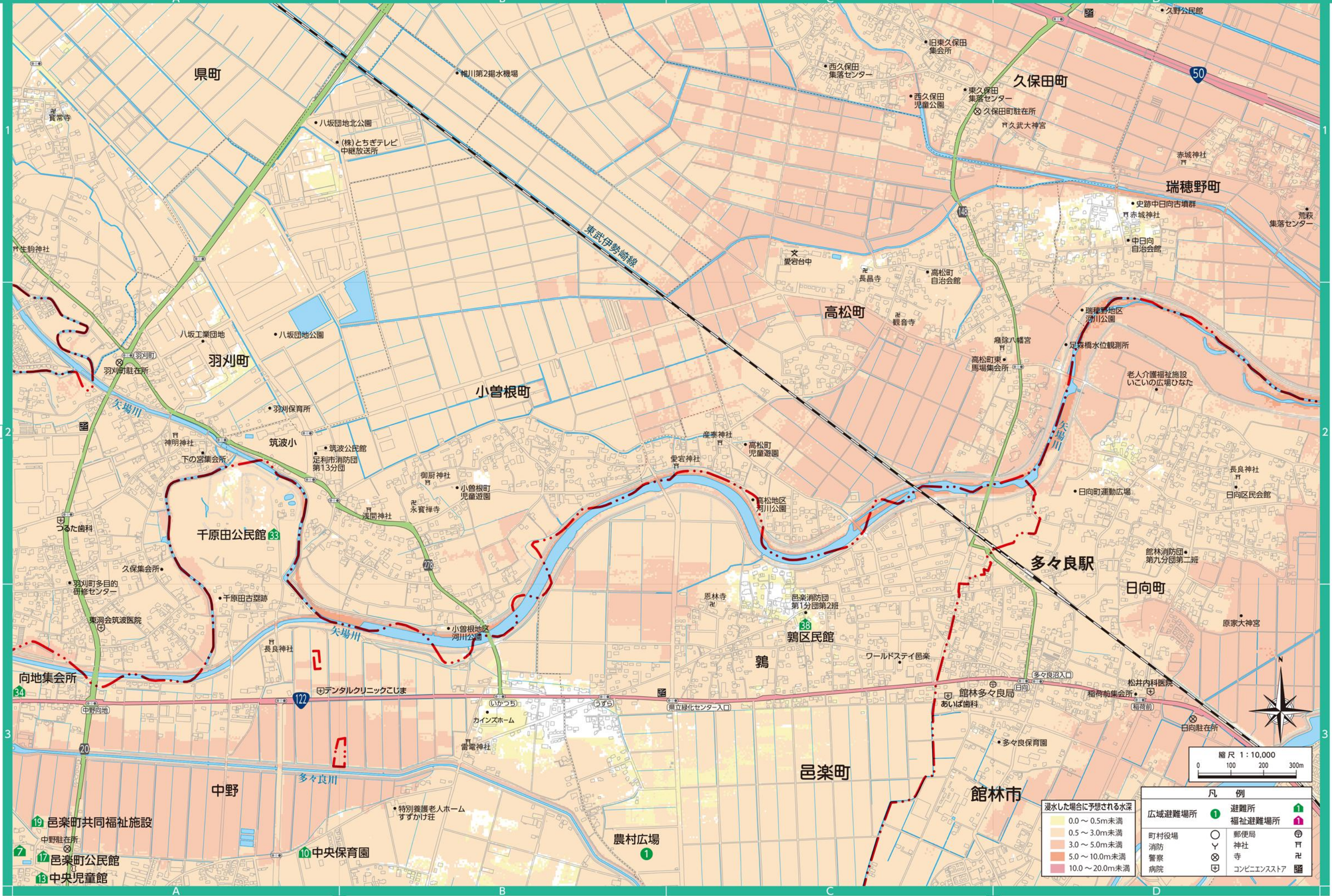
この地図の製作にあたっては、邑楽町長の承認を得て、同町発行の白地図（地形図）1/2,500を使用し調製したものです。
 この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。（承認番号 平29情使、第444-024号）

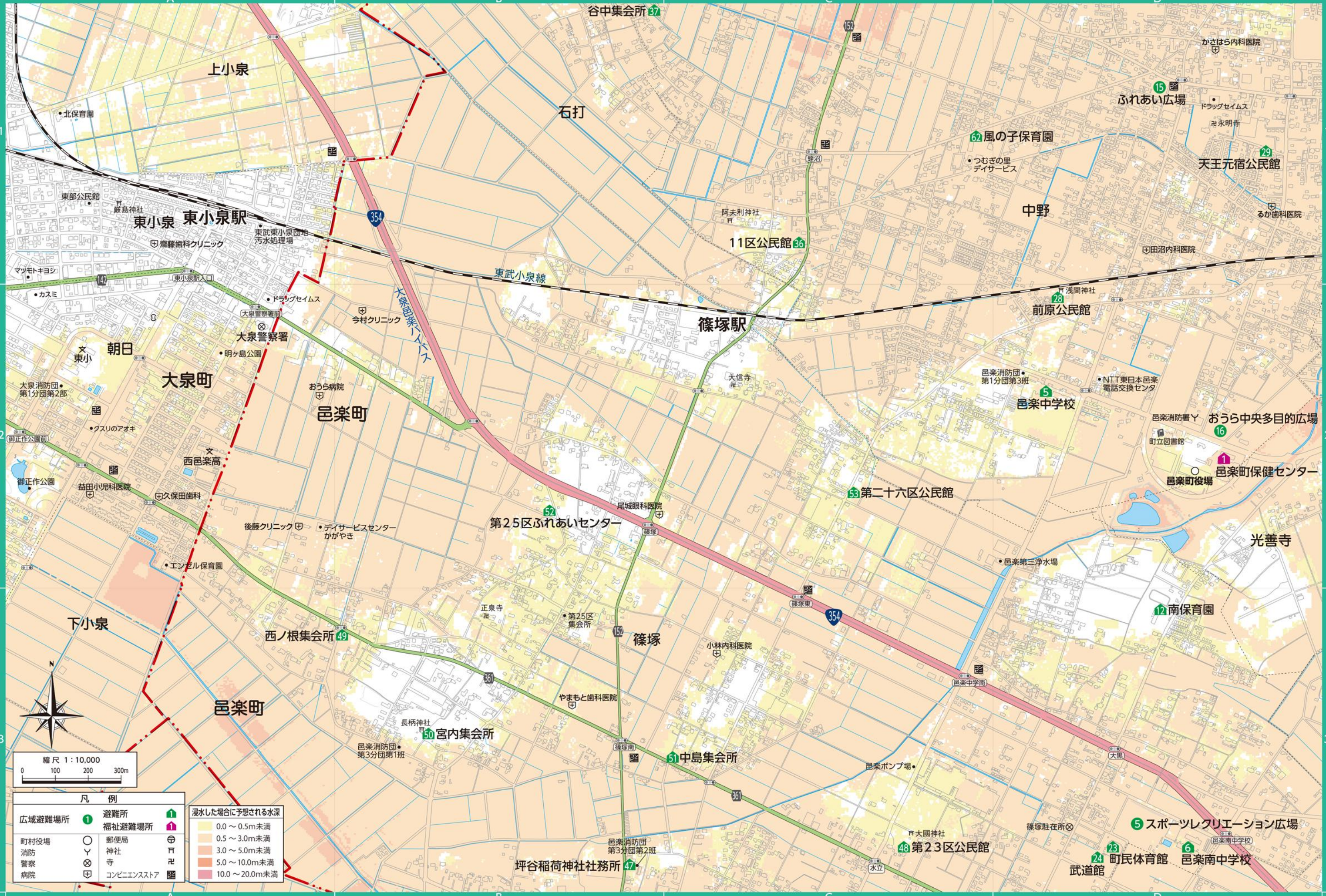


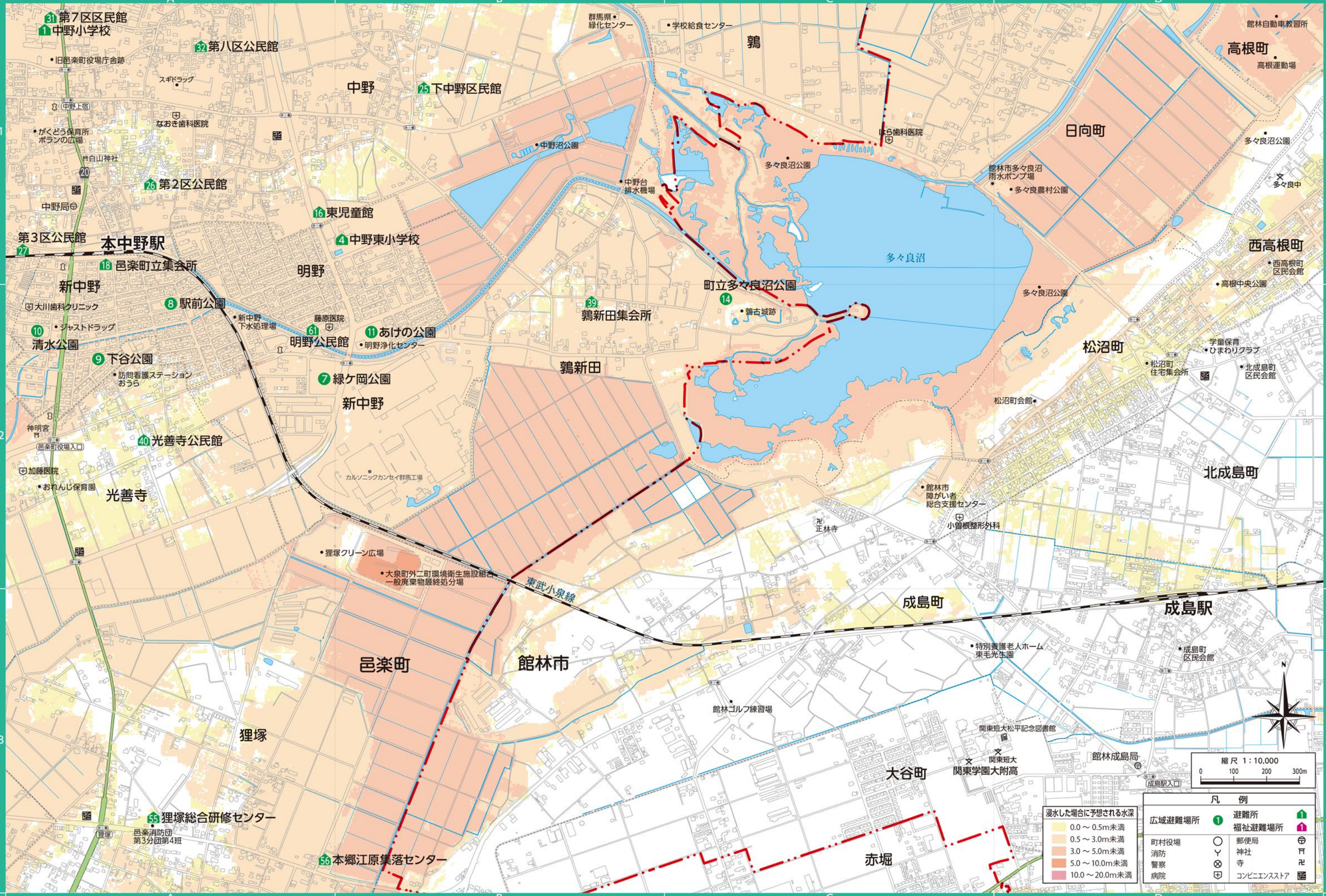
縮尺 1:10,000
0 100 200 300m

凡例	
広域避難場所	① 避難所
町村役場	○ 郵便局
消防	⌘ 神社
警察	⊗ 寺
病院	⊕ コンビニエンスストア
	🏠 福祉避難場所
	🏯 神社
	⛩ 寺
	🏪 コンビニエンスストア

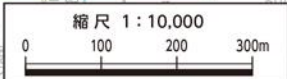
浸水した場合に予想される水深
0.0 ~ 0.5m未済
0.5 ~ 3.0m未済
3.0 ~ 5.0m未済
5.0 ~ 10.0m未済
10.0 ~ 20.0m未済

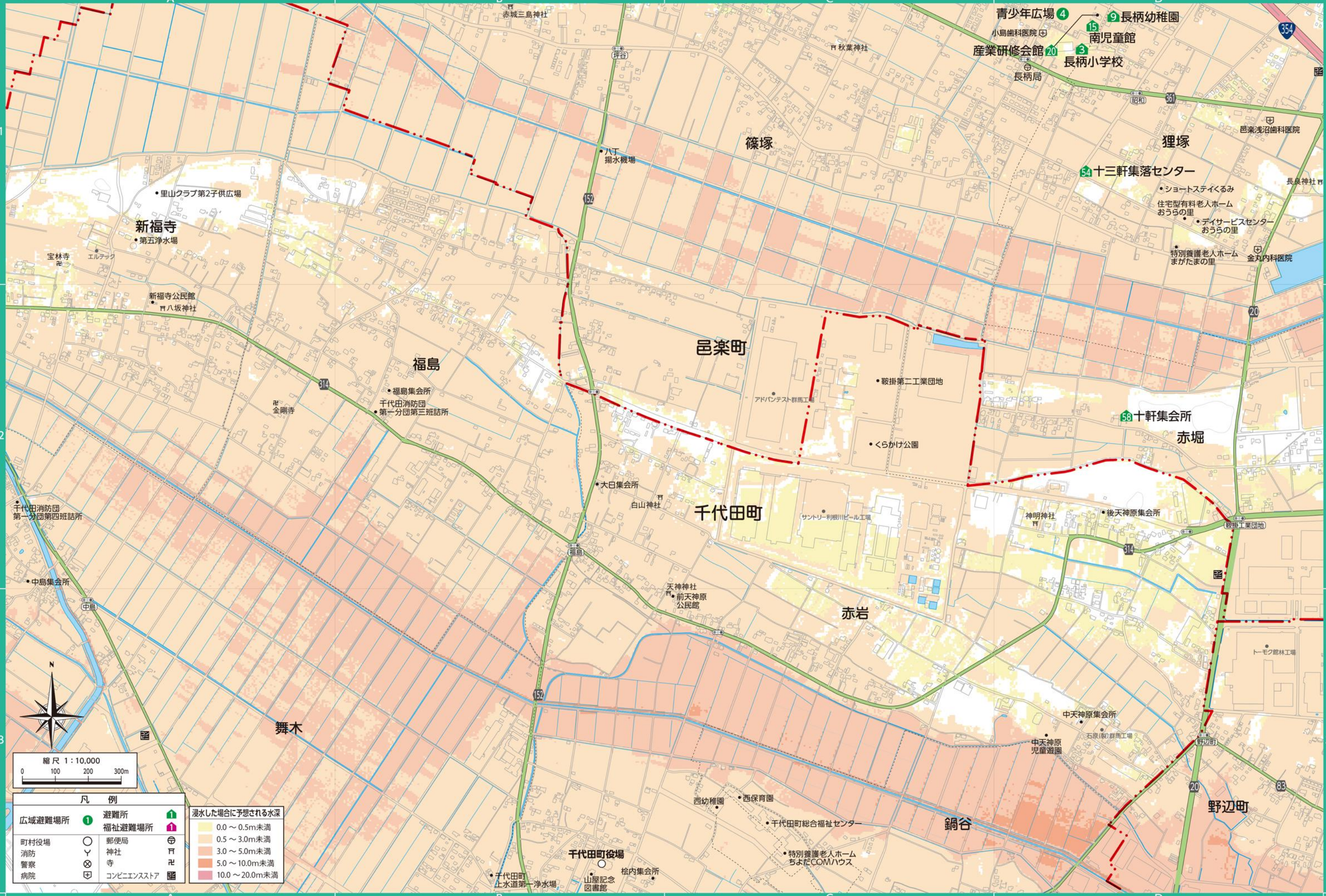






凡例	
広域避難場所	避難所
町村役場	福祉避難場所
消防	郵便局
警察	神社
病院	寺
	コンビニエンスストア

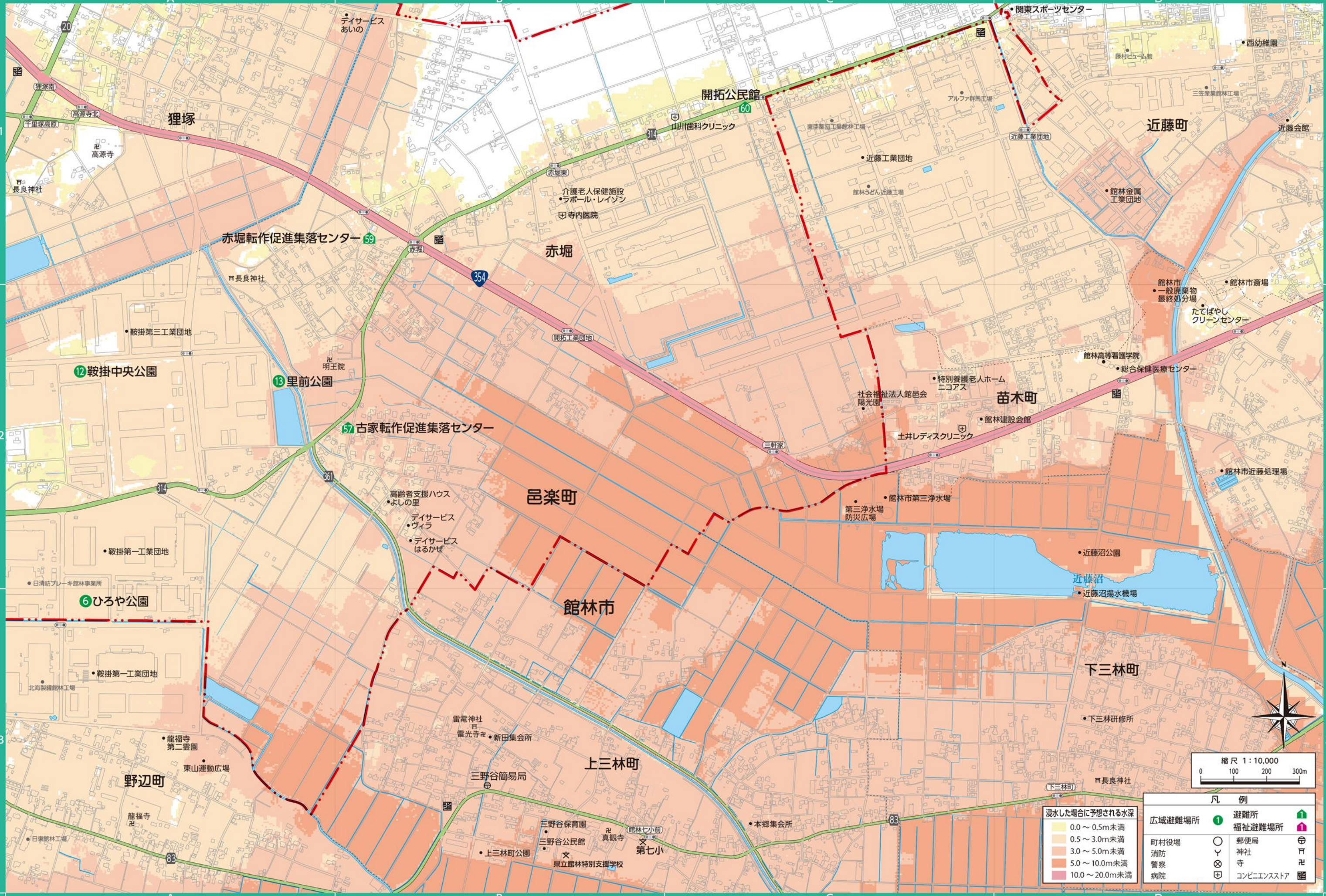




縮尺 1:10,000
0 100 200 300m

凡例	
広域避難場所	①
町村役場	○
消防	Y
警察	⊗
病院	⊕
避難所	🏠
福祉避難場所	🏠
郵便局	📮
神社	⛩
寺	🗿
コンビニエンスストア	🏪

浸水した場合に予想される水深
0.0 ~ 0.5m未滿
0.5 ~ 3.0m未滿
3.0 ~ 5.0m未滿
5.0 ~ 10.0m未滿
10.0 ~ 20.0m未滿



凡例	
浸水した場合に予想される水深	避難所
0.0 ~ 0.5m未済	福祉避難場所
0.5 ~ 3.0m未済	町村役場
3.0 ~ 5.0m未済	消防
5.0 ~ 10.0m未済	警察
10.0 ~ 20.0m未済	病院
	避難所
	福祉避難場所
	郵便局
	神社
	寺
	コンビニエンスストア

縮尺 1:10,000
0 100 200 300m

